

「あしながチャリティー&ウォーク」チャリティー募金の寄付について
～あしなが育英会に今年度2回目の寄付～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、3月17日に贈呈式を開催のうえ、2020年10月から各地で実施した「あしながチャリティー&ウォーク」における募金と会社拠出の寄付をマッチングした総額5,000万円をあしなが育英会に寄付しましたので、お知らせいたします。

なお、あしなが育英会への寄付は今年度2回目となり、今回は、「あしながチャリティー&ウォーク」による募金1,500万円に、コロナ禍の影響で生活が圧迫している遺児家庭の学生を支援することを主旨として、会社から拠出した3,500万円を加えた、合計5,000万円を寄付しました（注1）。これにより、2020年度のあしなが育英会への寄付総額は、1回目の寄付金額1億円（注2）とあわせて、1億5,000万円となりました。

また、本活動で集まった募金のうち、岩手県・宮城県・福島県を拠点とする支社に所属する従業員からの募金約468万円は、同東北3県が運営する東日本大震災遺児支援基金等に寄付しました。

2011年から実施している「あしながチャリティー&ウォーク」は、あしなが育英会のご協力のもと、当社役職員がウォーキングおよびチャリティー募金を通じて遺児支援の輪を広げる活動で、2020年度は、コロナ禍の状況に応じ、感染防止対策を講じたうえで、全国20カ所で当社役職員や家族等がウォーキングに参加し、総勢約4万人がチャリティー募金を行ないました（注3）。

当社は企業ビジョンで掲げる「人に一番やさしい生命保険会社」をめざしています。今後も本活動を通じて遺児支援に取り組み、子どもの健全育成および東日本大震災復興支援に貢献してまいります。

- （注1）2021年1月29日付発信リリース「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う追加的な社会貢献の実施について」
URL：https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20210129_01.pdf
- （注2）2020年5月22日付発信リリース「新型コロナウイルス感染症拡大をふまえた社会貢献の取組みについて」
URL：https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_03.pdf
- （注3）東京海上日動火災保険株式会社の役職員やご家族等をはじめ、活動の趣旨にご賛同いただいた社外の方も参加。
2011年からの累計寄付金額は約2億7,600万円

○ 2021年3月17日（水）実施の贈呈式の様子



（右側）あしなが育英会 理事 事務局長 関 亨江 氏

（左側）明治安田生命保険相互会社 執行役副社長 大西 忠

（ご参考）

寄付先	2020年度 寄付金額	
あしなが育英会（注4）	150,000,000円	
	（内訳）	
	会社拠出 1回目	100,000,000円
	会社拠出 2回目	35,000,000円
	「あしながチャリティー&ウオーク」募金からの寄付額	15,000,000円
いわての学び希望基金（注5）	1,479,500円	
東日本大震災みやぎこども育英募金（注6）	1,552,500円	
東日本大震災ふくしまこども寄附金（注7）	1,653,500円	

（注4） 病気や災害、自死などで親をなくした子どもたちや、親が 重度後遺障害で働けない家庭の子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体。高校、大学、専門学校等に通う遺児らへの 奨学金貸与や、遺児の心のケアのための「レインボーハウス」の運営などを実施

（注5） 東日本大震災で親を失った子どもたちが、希望に沿った学校を卒業し、社会人として立ち立つまでの支援を行なうために設置された岩手県の基金

（注6） 被災地のすべての子どもたちが困難を乗り越え健やかに育っていけるよう、宮城県が実施する募金

（注7） 子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢を諦めることなく、着実に前に進んでいくことができるよう長期的な支援を行なうために福島県が実施する寄付金

以上